城山学園便り（６月号）

平成２６年６月１５日（日）

編集・発行元　社会福祉法人　育友会
障害者支援施設　城山学園

平成二十六年度事業計画について

社会福祉法人　育友会　理事長　吉川　節郎

社会福祉法人育友会の平成二十六年度の当初「予算書（案）」と「事業計画（案）」が、三月に開かれた理事会並びに評議員会で原案通りに承認されました。

平成二十五年度の決算書（案）と事業報告書（案）は五月に開催された理事会並びに評議員会で審議され、最も大きな事業となったのが、平成二十六年二月一日に立ち上げた指定特定相談支援事業並びに指定障害児相談支援事業の「相談支援事業所コパン城山」です。

相談支援事業所コパン城山は地域を含む総合的なサービス展開に向けてのスタートになるもので、地域の利用者のニーズと地域の中で何が足りないのか、どの様なサービスがあれば障害のある人が暮らしやすい地域が作られるのか等の情報が集まる所で将来に向けての重要な拠点でもあります。

具体的な事業

（一）相談支援機能の強化

①相談支援機能の強化
各種研修会への参加並びに他事業所見学等も含む資質向上への取り組み

②自立支援協議会相談支援部会への参加並びに市役所等関係機関との定期的な情報交換等による連携強化への取り組み

③相談内容の検証による潜在的福祉ニーズの把握と今後の事業展開の検討

（二）新規事業所立ち上げ

（三）職員の資質向上並びに組織基盤の強化

①資格取得支援制度の構築

②職務・職責・資格等を考慮したトータルなキャリアパス制度の構築

（四）リスクマネジメントへの取り組み

①各種委員会活動の強化

とっておきの音楽祭ｉｎかのや

平成二十六年五月三日リナシティーかのやで開催されました「とっておきの音楽祭ｉｎかのや」にフォークダンスで参加しました。今年は出演者控室がなく、少し落ち着かない状況でしたが、フォークダンスを踊る前に演奏されていた昭和の歌を一緒に歌ったりしてリラックスされていました。

利用者の皆さんはステージに移動する際は緊張した表情でしたが、踊り出すと笑顔になり堂々と踊ることが出来ました。ゆるキャラのバラオとバララも途中から一緒に参加して楽しく踊ることが出来ました。

「バララと踊れて楽しかった」「また一緒に踊りたい」等の声が聞かれました。

来年も利用者の皆さんが楽しくフォークダンスが披露出来ますように練習を行っていきたいです。

生活支援員　八木　拓子

劇団とんぼ座観劇

平成二十六年五月十七日、垂水ベイサイドホテルアザレアにて、劇団とんぼ座の公演を観に行ってきました。お芝居や舞踏の出演者の七変化に利用者の方々、職員とともに見るものを魅了する二時間でした。

何度か観劇した利用者の方々、初めて観劇した利用者の方々からも「おもしろかったね」「きれいだったね」と多くの声が聞かれました。話の内容には多くの喜怒哀楽が沢山盛り込まれており、利用者の方々の表情も喜怒哀楽に満ちあふれておりお微笑ましい光景に引率した職員も嬉しくなりました。

昼食のお弁当もおいしく頂き、入浴はホテルの最上階の温泉にて桜島を一望しゆっくりと浸かることが出来ました。

また次の機会を楽しみに過ごせた一日でした。

生活支援員　又木　順子

リレートーク

皆さま、こんにちは。今回は、私が好きな生活支援員末吉隼人

もの突然ですが、皆さまはブルーインパルスの基地、松島基地で、海に面した拠点の一つ福島県松島飛行訓練を行い、震災復旧作業に当たる日々が続きました。

ニュースにもなりました。

技術の上を出し、全国各地の航空祭などで展示飛行を行い、第一飛行隊と正式にはアクロバットチーム「ブルーインパルス」の本拠地福島県松島基地は、毎年三月三〇日に松島基地で開催されて、同年六月一日に基地を一般公開することが予定されています。

今年は全国の基地や自衛隊の創設六〇周年を迎えるこの年、東北地方の方々に勇気を与え、東北六魂祭を期に、京都の前オリンピック回帰を目指す。

今後も多くの人々に、「ブルーインパルスは、福島県の復旧・復興のシンボルである。」と逃れる隊員は、福岡県三年後